

常陸大宮市教育委員会 11月定例会議事録

- 1 会議の名称 常陸大宮市教育委員会 11月定例会
- 2 開催日 令和5年11月27日(月) 午前10時00分から
午前11時32分まで
- 3 開催場所 常陸大宮市役所 行政委員会室
- 4 出席者
 - (1) 教育長 小野 司寿男
教育長職務代理者 宮本 亜希子
委員 生天目 茂
委員 橋本 勇夫
委員 宮田 則子
 - (2) 事務局及び説明者
教育部長 諸澤 正行
学校教育課長 小泉 博美
生涯学習課長 小室 修
文化スポーツ課長 坪 裕志
指導室長 関 好美
学校教育課課長補佐 青山 正樹
学校教育課係長 野上 幸恵
- 5 報告
報告第28号 教育長報告について
報告第29号 指定学校の変更許可について
- 6 議案
議案第38号 令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書(令和4年度事業分)について
- 7 その他
 - (1) 各課及び教育委員の行事予定について
 - (2) その他
- 8 次回の定例会日程について
- 9 閉会
- 10 傍聴人の人数 なし

1 1 会議の大要

小野教育長 本日の出席者は全員です。

ただいまより、常陸大宮市教育委員会 1 1 月定例会を開会いたします。

(午前 1 0 時 0 0 分開会)

小野教育長 本日の議事録署名人の指名を行います。議事録署名人に橋本勇夫委員を指名いたします。

本日の会議日程はお配りした会議資料のとおりです。

それでは議事に入ります。

はじめに、「日程 2 報告」を議題といたします。

報告第 2 8 号 教育長報告となりますので、私の方から報告いたします。

後期に入って 2 か月近く経ったんですけど、小中学校の子供達は落ち着いて学校生活を送っております。学校にお伺いしたときに、授業中にそれぞれの教室で笑顔が見られ、笑い声もたくさん聞こえるようになりました。先生方の、子供達を大事にする授業が運営されているのかなと思います、本当に嬉しく思います。中学校は今月末あたりに中間テストということで、子供達はそれぞれ勉強していると思うんですが、先生方の意見を聞きますと、年末の忙しくなる時期に成績処理がない分だけ、おそらく落ち着いて年終わりの授業が行えると思うということでした。

それから、この間、中学校では新人体育大会の県大会が行われまして、大宮二中の野球部が優勝、それから大宮中の男子卓球部が団体戦優勝、明峰中の男子卓球部がダブルス優勝と同じくダブルス第 3 位、大宮中の女子ソフトボール部が第 3 位という、大変すばらしい結果を残していただきました。大宮二中の野球部は先週こちらにご報告に来ていただきました。それだけの偉業を成し遂げた子供達なので、よほどがっちりした子供達が揃うのかなと思ったら、制服もまだ大きいとか、それで大人しい感じの、本当に県で 1 位なのというような子供達でした

が、丁寧にしっかりと挨拶をしてくださいまして、本当に良かったなと思います。

それから、小学生の宿泊交流体験学習事業について、反省と来年度の計画について実行委員会が行われまして、非常に効果があるということと、それから参加者、指導して下さった人達の反省のようなものをまとめてくださって、それを読みながら改善点もいくつか出てきておりまして、それを改善しながら来年度も実施しようということ。せっかくの事業ですし、小規模校がこれだけ増えていることもあり、中学校に行って子供達が楽しく生活ができるような礎を作るというものですので、続けていきたいということでした。

それと、11月6日に有機米の給食が初めて給食センターから出されまして、大賀小学校で市長をはじめとする方々が、子供達と一緒に試食をしてもらいました。子供達本当においしそうに食べていました。有機は非常に課題もあって、大変なものもあると思うんですけど、できればいろんな分野に広めていければなと思います。

それから、11月10日には、奥久慈のしゃも生産組合さんが、しゃも肉を何十キロも寄贈してくださいました。大変高価なものなのですが、給食に使ってくださいということで、子供達に好評になるんじゃないかと思います。

それから、11月11日、12日には、コロナ明け2回目の集中曝涼が行われたんですけど、新しい神社やお寺が加わったということもあって、2,695名の方がいらっしゃったそうで、昨年度より600名増えたということでした。文化財に興味をもっている人が非常に多いんだということがよく分かったので、そういったこともこれから教育行政の中でいろいろ考えていかなければならないなと思いました。

それから、11月15日は山方小学校、17日は山方南小学校の学校関係者意見交換会ということで、地域の区長さんと、それから学校の校長先生、教頭先生、そして教育委員会の職員が出向きまして、学校を取り巻く課題について、いろい

ろと話を聞きました。非常に広範囲に渡って意見がたくさん出まして、今日はすごいぞと思ったんですが、時間が長引くほど活発な意見交換をしていただきました。山方小学校では、御前山小で取り組んでいるコミュニティスクールというのが来年度から始まるということで、その説明も加わったものですから、今の学校の地域の抱えている問題というのは、このコミュニティスクールによって、たくさん解決できるんじゃないかって意見が最後にまとまったりして、非常に良い集まりだったなと私は思っております。

それから、先週18日に陸上記録会が大宮高校のグラウンドで行われました。前日少し雨模様だったので心配していたんですけども、グラウンドのコンディションも丁寧に整備していただきましたし、高校の方々にもお世話になりました。そして、長距離や短距離等の走る種目は後に回して、グラウンドのコンディションが良くなった時間にそれをやってくれさるとか、いろんなことで対応していただきました。校長先生方も来ていただきまして、大変ありがとうございました。お世話になりました。

それから、21日には、委員の皆様には後期学校訪問をしていただきまして、今回は学校の数が多かったんですけど、たくさんの小学校、中学校を見ていただいて、課題等について、いろいろとご指導いただいたり、確認をしていただきました。ありがとうございました。

それから25日、先週の土曜日ですが、卓球大会と、青少年をたたえる市民のつどいがありまして、青少年をたたえる市民のつどいでは、たくさんの子供達が作文の表彰を受け、それから、学校に非常にご尽力いただいた方にも表彰がありました。小学校の隣にいらっしゃる方だったんですけど、長い間、通学路の草刈りですとか、道路整備ですとか、プール周りの除草、それから学校の花壇に肥料を入れてくださったり、自分の家の畑仕事のついでにいつも学校のことを気にかけてくださって、十何年間もやってくさっていた方が表彰され

ておりまして、表彰の後にお会いしたんですけど、「表彰なんかしていただいて恐縮です。」とおっしゃっていました。学校って地域と一緒に育っていくものなんだなということを痛感した次第でございます。

報告は以上となります。

ただいまの件について、質問があればお願いします。

宮本委員 質問ではないんですが、集中曝涼のときに、私は甲神社に2日間おりました、すごく良いイベントだなと思いました。普段なかなか表に出すことができない貴重なものを、市役所の方が丁寧に出していただいて、掃除もしていただいて、虫干しするっていうのがもともとの目的でしたけど、それを見たいってことで来ていらして。私は御朱印をやっていたので、「どちらからいらしたんですか？」って何人かの方に聞いたんですが、市内の方はもちろん、市外からもけっこう、常陸太田とか、水戸とか、茂木の方からいらっしゃった方もいました。説明をするためにボランティアの方も来ていただいたんですが、その方達も文化財に詳しいってことで、市内だけではなく市外からも来ていただいて、甲神社は神奈川県から来ていただいた方もいて、かなりの知識で、私も横で聞いていたんですけど、すごく知識が深まりました。本当に良いイベントだなと思いました。

それから、11月18日、19日に文化祭がロゼホールであったと思うんですが、今までずっとコロナでやっていなかったんで、今回は発表する機会があるってことで、息子が発表したんですけど、もっとがんばろうってことで、より一層勉強にも力が入っていました。それから私の母も見に来たんですね。久しぶりにそういう場に行ったので、懐かしい人に会えたし、発表する人達とも話せてすごく良かったと言っていました。

以上です。

小野教育長 ありがとうございます。他にございますか。

それでは、無いようですので次に移ります。

ここで皆様にお諮りいたします。この後の報告第29号につきましては、個人情報に関する内容が含まれております。地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第14条第7項の同項のただし書きの規定により、人事に関する事件その他の事件について教育長または委員の発議により、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、会議を公開しないことになっています。

つきましては、個人情報保護の観点から、会議を非公開にしたいと思いますが、賛成の委員の挙手を求めます。

(委員全員 挙手)

小野教育長 全員挙手ですので、報告第29号につきましては、非公開といたします。

それでは会議日程に戻ります。

報告第29号 指定学校の変更許可について事務局の説明をお願いいたします。

小泉学校教育課長 【報告第29号について説明】

小野教育長 説明が終わりました。質問があればお願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、報告は以上になります。

続きまして、「日程3 議案」に入ります。

議案第38号 令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書（令和4年度事業分）についてを議題とします。事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長 【議案第38号について提案・説明】

小野教育長 説明が終わりました。採決の前に、少し時間を取りますので、資料にお目通しいただければと思います。

(教育委員 資料確認)

小野教育長 それでは、約10分ほどお時間をお取りしましたが、よろしいでしょう

か。

では、質問があればお願いいたします。

宮本委員 7ページの、事業番号2番の、事業の概要のところ、K-13法学習会というのはどういうものなのかなと、知らなかったので教えてください。

関指導室長 K-13法学習会というのは、各種検査等の実施のところにございますような、ハイパーQ.Uと、それから2の研修会、こういうものの結果を分析する方法の学習会になります。それぞれ単体のものと、それらを掛け合わせて子供達の状況を見ることができる、見取り方の勉強会ということで捉えております。

宮本委員 これは常陸大宮市の学校の先生全員が出るものなんですか？

関指導室長 学級づくり・集団づくりの部会に属している各学校1名の先生が参加で、そこから各学校の研修会を行ってもらう形をとっています。

宮本委員 分かりました。ありがとうございます。

もう1つなんですが、事業番号3番の、Bの委員が「対応が未だ充分でないことが確認でき」とあるんですが、これは具体的にどういうところかおっしゃっていましたか？

小室生涯学習課長 未実施の小学校があるということでの委員のご意見だと思います。

宮本委員 分かりました。ただ、空き教室のある学校でしか対応できないってこともあるんですよね。

小室生涯学習課長 はい。

宮本委員 分かりました。ありがとうございます。

小野教育長 他にございますか？

宮田委員 4番に文化協会支援事業がありますよね。この中で、今年度、文化協会主催で行う文化祭についてのご案内を速達で送ってくださったんですよね。市内で文化祭を行っているあのパンフレットはどこの地域にも置いてありましたし、いろんなところで目にするものなので、十分周知がされている内容だとは思うんで

す。ただ、4年ぶりに開いた文化祭、展示会、発表会が多かったので、やっぱり3年、4年ブランクがあると、随分様変わりしているなど思いました。私は文化祭に行ってみたり、展示会を見てみたりしたんですが、今まで文化祭の中心は、ロゼホールを利用するような展示会、文化祭だったと思うんですよね。18日、19日と2日間、ロゼホールを中心に行ったんですが、その中で、せっかく文化協会という団体があって、その中の音楽祭ということで発表会をしたときに、文化協会関係のものが無いなど思って、心細かったといいますか。音楽部長さんに聞きましたら、「改めてのご案内はしないでしまったので、申し訳ない。」という話もしていましたので、来賓もなかったということで。全体的に終わらして、ここに評価も出ているようですけど、本当に様変わりしましたね。この3、4年の間に。100くらいの文化協会の小さな団体があるわけですけど、みんな高齢化しています。で、3、4年のコロナ関係のブランクがあった間に、令和5年度は退会というのが十いくつか出たんですよね。団体さんで。そういうことなので、評価としましては、「現行どおり」という評価をいただいていますけど、やはりどこの文化祭も主催は何々部、そして教育委員会が後援しているような形を取っておりますので、こういうことについても話題としてこれから検討していくべき内容なのかなと思いました。「現行どおり」というのは、現行のまま行っていくというものでしょうけど、私個人の考えとしましては、「拡充」とか、そういうお言葉がほしいなという感想を持ちました。以上です。

小野教育長 貴重なご意見ありがとうございました。

橋本委員 文化協会のことなんですが、今、宮田委員も言っていたんですけど、文化協会の方でも、各旧町村で組織されているんですが、非常に差があるんですよね。今回久しぶりに文化祭の形を取らせてもらったのも、文化祭をやるような話が秋になってから出た気がするんです。それまでは全くやることが分かっていなくて、「学校だけでも展示をやってくれない？」って話をしているうちに、文化祭をや

りますよみたいな話が出たので、それに乗ったような形でもあったんですが。地域によって、特に美和地区の文化協会の方々って、ちょっと少なすぎたので、区長会の方で展示とか手伝ったんです。女性の年配の方が3人くらいしかいないような状態で、展示とか準備、パネルを運ぶだけでも大変というような状況があったものですから。それから作品についても、先ほどの少子化ではないですけど、美和地区は一校小学校があるだけなんで、できれば中学校あたりの作品も思っただけです。日にちが違ったものですから、10月の下旬に緒川で展示をやったので、そのまま明峰中の作品も一緒に美和の方に展示しようかと。美和の方だけっていうようなことはしないから、そのまま搬出したものを貼っておくだけでも違うなど思っていたんですが、担当の係の方が「それはもう無しってことにしちゃいました。」ってなったんで、それ以上のことは言わなかったんですけども。っていうのは、以前ですと、小さな5地区の中の、小学校が2つ以上あったり中学校があったり、作品なんかは、いろんな学校の見るのは、比較じゃないですけど刺激になるんですよ。保護者も刺激になるでしょうけど、指導している教員も刺激になるんです。ところが、一校だけの1年生から6年生までだけの展示ですと、刺激があまりないというか、残念だなと今回思ったものですから。こういう機会だったので、ちょっと感じました。そういうわけで地域差がありまして、あとはステージ発表も、以前からあまりあそこの地区はやっていないんですけど、いろんなところで、太鼓をやったり、活動している場面もあるので、ちょっと声をかけて、発表の場として作ってあげることもいいんじゃないかなと。こういう係として、さっきの声がかかる、かからないになるのかなと思いました。これは感想です。

それから点検評価で、「健康で明るい生活を」ということで、「生涯スポーツに繋がるような、スポーツばかりではなくて、健康寿命を延ばすような活動を」というコメントが出ているんですけど、市のスポーツ協会として、そういった活

動って何をしてるのかなって。何か具体的なものが出たのかなって思うんです。以前、スポーツ推進審議会委員をやっていた頃には、トレーニング関係のようなものが市民全体にあるのかなって。チームとして加盟団体は大会とかいろいろあると思うんですが、一般市民向けのそういった健康づくりみたいなものは、どこにどういうものがあるのかって話になったこともあるんですが、常陸大宮市としてはちょっと見当たらないってなった気がしてるんです。そういう案が委員の意見の中から出ましたら、教えてほしいなと思うんですが、いかがでしょう。

坪文化スポーツ課長　　スポーツ協会による健康寿命を延ばすことを目的とした事業というのは、今のところ見当たらないです。例えば、できることとなれば、西部の体育館にトレーニングマシンを設置するとか、そういうことは考えられるんじゃないかなと、今お話を聞いて思いました。

宮本委員　　その件に関しまして、アイデアがあるんですが、去年体力測定を地区の方で年代と性別っていうことで頼まれて、実際に行ってきて、小学生がやるようなスポーツテストの内容をやってきて、一緒にバドミントンをやっている仲間に「実はこの前、こういうのをやってきて。」っていう話をしたんですね。そして、「えっ。やってみたい。」っていう方が多かったです。「それってどうやったらできるの？」っていう話で、私は地区で選ばれてって話したんですが、あれをもっと市民の方に測れますってことを周知して、自分の体力年齢というか、今の状況を知ることによって、昔より衰えたなって思えば、もう少しスポーツやろうかなと、そういったきっかけになるので、体力測定をもう少しアピールしてもいいかなって思います。

小野教育長　　ありがとうございます。他にございますか。

それでは、今の意見を教育委員会での意見ということで、担当課の方でそれぞれの部署で改善点等検討していただければと思います。

それでは、無いようですので採決に移ります。議案第38号につきましては、

原案のとおり可決することよろしいでしょうか。

各委員 <異議なし>

小野教育長 異議なしと認め、議案第38号につきましては、原案のとおり可決いたします。

続きまして、「日程4 協議」に移ります。

協議事項5 令和5年度常陸大宮市教育振興大会表彰基準（案）についてを議題とします。事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長 【協議事項5について説明】

小野教育長 協議事項について説明が終わりました。ご意見、質問等をお願いします。

宮本委員 去年、確か英検2級を中学生で受かった子が何人かいたので、その子達も表彰した気がするんですが、そこはあえて盛り込まずに、申請があった場合だけ受け付けるという形ですか。

生天目委員 英検いたよね。

宮本委員 大宮中で3人くらいいて。

橋本委員 ここに載ってなくても、ここに英検2級とかの文面は入れないで、県ベスト8と同じような、特別な審議になるのかなと思います。

生天目委員 検定を記載し始めたら大変になるよね。

宮本委員 そうですよ。数学検定もあるし、漢字検定もあるし。

橋本委員 出てくれば審議しましょうってことで話をした気がします。

小泉学校教育課長 令和3年度に英検2級合格者の3人に表彰状をお渡ししました。

橋本委員 表彰基準には出さないで、出てきたらということですね。

小野教育長 それは別に審議事項になるということで、そういう前例があるということとで。

他にございますか。

(3)と(4)については、新しく入るんですが、これについてはいかががでし

ようか。なかなか難しいところなんですけど、特に成績の方で、上位者を表彰するってことが、どうも教育にそぐわないのではないかという意見が校長会の中では出ているんですね。で、結局がんばってやろうということと、来年度は、今年度がスタートなので、今年度と比較して、去年よりもがんばって点数を伸ばした、伸び率の一番良い子も表彰しようという。トップばかりではなくて、それも加えてってことも考えているのですが。

日本の教育って、この辺りが非常に微妙なところがあって、この間の校長会的时候会に話し合ってもらったんです。どういう意見が出るのか聞いてみてくれと。そしたら、なるほどという意見もあって。

(校長会での資料を配布)

何でも自由に言ってもらったので、条件とか深い話し合いではなかったんです。思ったことをみんな言ってくれたということで。教育界では、今まであまり、こういうものを表に出して何かをするってときに、何ができた何ができたっていう表彰はされていないというか。みんな同じに一生懸命がんばっているんだから、そういうことで差をつけるのはおかしいって、差をつけるって感覚もすでにおかしいと思うんですけど。差をつけるんじゃないかって、がんばった結果、君が一番よくがんばったねってことをみんな褒めようということなので、そういう観点からいけば何も問題がないことなんです。でも、その観点が誰も同じように持てるものではないということで。特に教育に関わっている人間は、そういうことによって、そんなことしか考えていない人なんだろうって思われるのが嫌なんですね。教員というのは。要するにがんばっている上の子の方だけ褒めて、下の方にはないのかって、必ず言われますから。ただ、スポーツにしても学習面にしても、トップになるのってそれは大変なことで、それを正直によくがんばったと、あなたは一番点数が取れた、あなたは一番ボールを遠く投げたとか、そういうことなので、それこそ神経質になる必要はないんじゃないかなと私は思っているんです。

同時に、これだけだとこのように評価が分かれると思うんですが、この子達に、
どういうところを努力したのかとか、それからどこをがんばったのかとか、例え
ば、難しい問題に対して勉強でどういう工夫をしてるのかとか、スポーツで苦手
な種目を伸ばすためにどんなことをやっているのかとか、一人ずつ簡単に発表し
てもらえればいいんじゃないかと思うんです。そうすることによって、ただの1
位すごいねじゃなくて、この人はがんばったんだと。ちゃんと自分で工夫してこ
れだけのことをやっているんだって、そこを一緒に褒められればいいんじゃない
かと。ちょっと時間はかかるかもしれないけど、長い時間ではなくて、一人ずつ
ほんの一言でいいので、前もってこういうことを聞きたいので、考えておいてく
れということをお願いしておいて。土曜日の青少年のつどいで、実はこの方式を
取っていて、あれ良かったですね。表彰された人にインタビューして、それに
答えるということ。そういう形を取ればいいかなと。

橋本委員 時間を気にするのでしたら、例えば、年によってスポーツ関係のインタビ
ューをすとか。学力も隔年にすとか。基準をローテーションをすとか。私
も同じなんですよね。学力面だと反対者が多くなってしまうんですけど、スポー
ツ面だって、1回戦で負ける子もいれば、優勝する子、ベスト8に入る子って、
いろんな場面でその子の能力もあるし、努力もあるわけですから、結局のところ、
学力もスポーツも同じに考えてあげていいんじゃないかなと、私は思っています
ね。あとは、表彰の配慮はどこかにありますよね。

生天目委員 私は難しいと思う。正直、全国学力学習状況調査の全国の知事さんと同
じだよ。そういう心配はある。過度の競争を生むという懸念があるという意見も
出てるけど、そういう心配もあると思う。校長会はほとんど反対意見だよ。やっ
ぱり現場の人は、特に成績に関しては敏感だからね。過度の競争心を煽らないか
なって気がする。例えば、1番が表彰されて、2番、3番がなれなかったとする
でしょ？2番、3番の子は悔しいと思うけど、本人が分かっているかどうか分か

らないけど。で、これはスポーツで速いとか、それとは違うんだよね。スポーツで速いのは、すごいなって素直に褒め称えることができるんだけど、学力で、たまたま成績1位を取った。そのときは1位だったかもしれないけど、次はどうだか分からないけど、この辺になってくると、ちょっときつい面があるような気がする。だから、これをやっちゃうと、大宮は全国学力学習状況調査の例の方向にいかないかなって気がする。だから、もう少し慎重に検討してもいいんじゃないかなって気はするね。まあ、学力にコミットしているっていう、市の方針を見れば、そういうこともあり得るかなって気はしているんだけど、今、心の中が割れています。

小野教育長 私、ずっと思っていたんですけど、診断テストなんか作っていると、大体どの程度までの平均点を取ってくればいいかなって思って、7割くらいを目安に作るんですね。でも、100点取る子がいるんですよ。私は英語でしたけど。この子どもが勉強しているんだらうって知りたかったんです。本当に。こっちが7割だなんて思って作ったテストに、100点取ってくるので。それはきっと、人から見えないところですごい努力しているんですよ。もちろん、頭の良い子もいます。でも、小学校とか中学校の学習なんて、結局良い子は良いけれど、大抵は時間をかけて一生懸命コツコツやっている。本来、昔の授業ってそういったものが評価される方が多かったんです。繰り返しの練習によって点数を重ねていくっていう。で、テストはそれが準じて出っていたので、だから、やるだけやればけっこう点が取れたんですが、最近の授業は、要するに何をやっていいかわからない状況になってきているので、何をやっても何か分からないというか。1位を取ってる人達って、いったいどこで自分が1位だってことが分かって褒められるんだらうなって、いつも思っていたんですよ。あれだけの勉強をやって、学力診断でどこまでできるようになったかを一齐にやって、そして、その地区の中でがんばって正答率1番を取ったということ表彰してあげるということは、決して

悪いことではないと思うんです。ただ、そこで問題が出てくるかということ協議しなければならないことではあるんでしょうね。きっとね。校長先生方の意見もよく分かるんですけど。ただ、これを表彰するとすれば聞かなくちゃならないでしょ。あなたを表彰していいですか。その必要がないって言われればそれまでですし。と、思うんですが。

生天目委員　私が心配するのは、表彰されたがゆえに、そういう優秀な子がつぶれなかってことが心配なんだ。みんなにチヤホヤされたがために、その後続がなくなっちゃうんじゃないかっていうのが、ちょっと心配。校長の本音もその辺なんだろうと思うんだよね。だから、そういうふうに言いながらも、表彰することで、その子が更に伸びるんなら、励ましてあげたいって気持ちもあるんだよね。そこがちょっと難しいな。今まででこういうのがなかったからね。

小野教育長　そうなんです。あんまりないんです。必ず言われるのがここに順位付けは良くない。順位付けは教育上いけないものだ。順位付けではないんです。1位だった子を褒めると。順位じゃないんだけど、頭の中で切り替わっちゃうんですよね。これは、教育の弊害の根本になっている気がする。

生天目委員　今記憶が蘇ってきて、たくさんいる教え子の中に、あんまり浮き上がったために、つぶれた子もいるんですよ。実際には。さらに伸びた子もいるし。そこは難しいんですよ。大人の感覚からすると、単純に褒めてあげたいというのは分かるんだけど、子供の心理からするとどうなのかなって。嬉しいのか。

橋本委員　これ、何年度くらいからですかね。順位じゃないですけど、そういうのが競争を煽るなっていうふうに。私らが新採の頃って、こういうのは1番からどんどん表に出していた気がするんですけど、あるときから順位をつけるなって変わってきましたよね。

生天目委員　昔は、そういうのをどんどん気にせずに競争を煽っていたんだけど、やっぱり競争を煽ったがために、学校現場のいろんな荒廃に繋がっていったので、

そういうことを見直すって意味で、こういう比較するようなものはやめようってことになったんだけど、また復活しちゃったでしょう。で、復活した理由付けとして、指導の参考にするんだというのを建て前にして、過度の競争を煽るようなことはしないよということでやっているんだけど、結果的に都道府県の順位が出てしまえば、知事さんに見れば面白くないから、いろんな問題が出たでしょう。例えば、優秀な学校の校長には、教育予算を多く出すとか。そんなことを言い出した知事さんもいるでしょう。やっぱりね、トップですらそうなるんだから、煽るんですよ。やっぱり。

これ、出たときに迷いませんか？私は迷っています。

小野教育長　　子供はそんなナイーブさというか、地域のみんなからすごいねって言われたことって、みんなから言われるのかな。

生天目委員　　市で表彰されれば言われるよ。当然。

小野教育長　　でも、それって、言われる方より言ってる方が悪いんですよ。そこで履き違えるんですよ。教育って。誰もがそんな強い意思を持っているわけではないですからね。小学生、中学生くらいで。でも、そこを忖度するから、自分のプライドのまま卒業していくんですよ。結局、せつかく1位を取っているのに。誰よりもがんばっているのに。でも、今の教育ではあんまり良くないことになっちゃっているんでしょうね。考えると複雑になってしまうんですよ。非常に。

あと、もう1つ、褒めてほしくない児童生徒もいるから、配慮が必要だっていうことが書いてあるんだけど、これが全ての意見の中心ではないんですけど、褒めてほしくないっていうことはあるのかな。すごいつて言わないでって。

宮本委員　　あるみたいです。子供達の中ではないんですけど、その傾向は最近の社会人なりたての方に多いつて話は聞いたことがあります。大勢の中で褒めてほしくない。今の子供達は分からないです。

小野教育長　　まあ、恥ずかしいんでしょうけどね。そうすると何か言われるんじゃない

いかとかっていうふうに、恐怖心じゃないですけど、ビクビクするとか、みんなの前でそんなこと言わないでってことがあるのかな。子供達もきっとね。

宮本委員　　いろんな保護者からも話を聞いて、私が何となく表彰されそうな子を想像してみると、その子達は自分の夢に向かって、一生懸命勉強している子達が思い浮かぶんですね。そうすると、この表彰をもらったから天狗になるとか、そういうことにはならない子達が浮かんでます。ただ、この表彰をもらったのは通過点で、自分の夢はこれだからがんばろうっていう子達が浮かんでます。

橋本委員　　今、宮本委員が言うように、企業に入って新しい人が全体の前で褒められるっていうのは、その後のプレッシャーが、いろんなことを考えると。ですから、児童生徒としても、こういうところでっていうのがプレッシャーになって。なかなか「えっへん」という感じがなく。スポーツだと、団体とか一斉にやってるようなところがあるんで、競ってるようなところも見えるから、「えっへん」っていうのがあると思うんですけど。学習面の方は、案外競ってるわけではないですからね。自分の内面的な努力ですから、表に出るとちょっとっていうような。その辺の心理的なものが。ですから、褒め方って、みんなの前で褒めるのではなくて、叱るのもそうですけど、案外、人の前じゃないところで褒めたり叱ったりしろって言われていたような気がするんです。そういう面からすると、全体ではなくて、方法としては別のものがある気がしますね。

小野教育長　　事務局ではいつまでにこの基準を確定したいですか。

青山学校教育課長補佐　　例年ですと、11月の教育委員会で案を確認しまして、決まり次第、学校に推薦依頼の通知を出すんですが、今回ですと、遅れても12月上旬かなと思われれます。ただ、(3)と(4)に関しましては、検討中ということを出すのも可能です。

小野教育長　　検討中っていうのも可能なの？

青山学校教育課長補佐　　(3)と(4)は推薦が不要ということもあるので、可能で

す。

小野教育長 今日委員さんの意見を聞いて、もう一度校長会等で話をしたいなと思っているところがあるので、ちょっとこれは検討中ということで、今日はとりまとめという形ではなくて、他のところが良ければ、ここを検討中で、それ以外のところは記載のとおりということでよろしいでしょうか。

各委員 <異議なし>

小野教育長 分かりました。では、ちょっと検討中ということで。宮田先生はどうでしょう。

宮田委員 考えると、一生懸命努力した子を褒め称えるというのは、みんなが認めているということもあって、励みの1つになるとも思うし。実際に、体力はある程度目に見える部分がある、学力については周りには見えない部分があって、1点差でも上位は上位ですから。だから、そういうことを考えたり、それから、褒められるのを嫌がる子というのはケースバイケースだと思うんですけど、今の子供達の性格というか考え方というか、それに合わせようと考えたら、いろんな心配が出てくるということもあって、私の中でも何かモヤモヤしているんですけど。結局、体力面と学力面はセットみたいなものですよ？

小野教育長 はい。一応セットで考えています。

宮田委員 校長先生方がこうおっしゃるといことは、校内の先生方のことや、生徒のことをイメージして、ご意見を出していただいていると思うので、そういうことで、市内で1名ですからね。全学年でね。そういうことも含めて、いろいろ考えると、なかなか難しいかなと思ってしまいます。

小野教育長 この間、校長会でお話ししたときに、教員の話も出ました。これも順位付けとか、そういうのに繋がるんじゃないかと、それは繋がらないよって言ったんだけど。それが心配だと。確かに、自分のクラスの子がこの賞をもらったとしたらどんな気持ちになるかなと思ったんですけど、やっぱり嬉しいと思うんです

ね。よく頑張ったなど。自分の力だけではないのはもう分かっています。今の時代だと、塾だってたくさんあるし。そうなると、自分のクラスで1位が出たと。それから、知っている先生のクラスで1位が出たときに、その先生はどんなふう
に思うか。私はどちらかというところ、尊敬すると思うんです。その先生のことを。
で、やっていることがあったら教えてもらおうとか、真似しようとか、近づきたい
なと思うんですが、そのとき校長先生方がおっしゃったんですが、序列をつける
ことになるから、それについては考えなくちゃという意見があったんですね。
序列と言ったって、1位は1人しかいないわけだから、序列も何もないんじゃない
かって言ったんですが、どうもその辺の感覚が。確かによく分かるんですけど、
自分も教員だったので。ただ、それが、何かこう、大事なところで、子供達の伸
びを切っているというか、学校への期待をなくしているというか。そういう1つ
の根源になっているんじゃないかって気はしているんですよ。正直なところね。
何でできる子を褒めないんだって。でも、スポーツと同じで、やっぱり努力して
重ねてきて、一生懸命いろんな工夫をしてやったに決まっているんですよ。1位
の正答率取る子なんて。その子のやってきたことをよくがんばったなって褒める
っていうことに関しては、何の問題もないんだけど、それに付随して人間関
係、学校経営とか、学級経営とか、今の学校の状況というものが、モヤモヤと変
わってきちゃう。もうちょっとそこをスカッとできないものかなというのが正直
な気持ちなんです。

貴重なご意見ありがとうございます。そういう訳で、これはおいおいというこ
とで。後でまた、委員の皆様には確認のお電話をすることがあるかもしれません
ので、そのときはどうぞよろしくお願いいたします。

以上で協議が終了いたしました。

続きまして、「日程5 その他」に移ります。

(1) 各課及び教育委員の行事予定について、事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長 外 [行事予定説明]

小泉学校教育課長 [教育委員の予定説明]

小野教育長 ただいまの件について、質問等があればお願いいたします。

では、無いようですので、(2) その他について、事務局又は委員の皆様から何かありましたらお願いいたします。

橋本委員 今年度の様子の中で、先ほど11月18日に陸上記録会があったと思うんですが、18日はうちの方でも行事を考えていたりして、重なったりしていたんです。で、それから市の方でそういう準備をしてくれたにも関わらず、学校行事もここに入れている学校があったりしていますよね。できれば、同じ少子化の中の少ない子供達ですので、2月の頃にいろんな施設の調整会議があると思うんですけど、2月には各学校も次年度の年間計画は進めているんですよね。ですから、2月のあたりに調整会議で行事関係、事業関係のある程度入れていただくと、子供達も迷うことないし、行事を重ならないようにしたいなと思います。以前も、スキー教室を冬場に開いたことがあったんですけども、子供達行きたいって言っても、今日は部活の練習試合が入っているから行けないってなって。シーズンオフのこういう時期なんだから、先生達も「休んで行って来いよ。」ってことが何で言えないの?っていう話をした覚えがあるんですが。ちょっと配慮してもらえると、そういう参加率も違ってくるんじゃないかなって思っています。だから、3月末には、各1年間の事業関係は大体一覧表で見られるように、それを参考に学校あたりも学校行事を入れてもらうというようなことができないのかなって思っていたものですから、そういう準備をしていただけるといろんな事業がスムーズにいくのかなって気がします。

小野教育長 ありがとうございます。

他にございますか?

では無いようですので、続きまして、「日程6 次回の定例会の日程について

て」、事務局からお願いいたします。

小泉学校教育課長 （12月定例会について日程調整）

小野教育長 それでは、12月定例会については令和5年12月25日月曜日、午前10時より開催することにいたします。

以上をもちまして、常陸大宮市教育委員会11月定例会を閉会いたします。

（閉会：午前11時32分）